

2020年1月発行 No.60 (WE=Women's Empowerment 女性が力をつけること)

- 「WE21 ジャパン厚木」が応援している気仙沼市の「NPO 法人生活支援プロジェクトK」が、大震災からの復興が一段落したことを機に、新たな活動に取り組み始めています。新しい活動とはどんな活動なのでしょう？ これまでの活動も含め伺ってみました。

東日本大震災 復興支援報告

NPO 法人生活支援プロジェクトKが 気仙沼で新たな活動を始めます

いのちの大切さを 伝えたい

●8年間の活動を振り返って

最も難しかったことは？

『NPO』という小さな団体の存在を知ってもらい、活動を広げていくことが難しかったです。

心がけたことは？

「地域の力」を大事に住民の方達を後押しする立場にいるよう心掛け、トレーラーハウスに来て下さった一人一人のお話を聞き、笑顔になって帰ってもらえるよう活動しました。他団体や行政とも共同し活動が重ならないよう取り組みました。

●今後も継続する活動は？

「いきいき体操・健康講話」の開催

高齢者が地域と繋がりを持ちつつ元気で自分らしく過ごせるように、体操や講話を通して健康作り仲間作りを行います。



震災後、全国からのご支援に大変感謝しております。気仙沼はゆっくりと新しい街ができています。もともとあった文化・伝統を大事に、復興した街で暮らす人々が健康で自分らしく生活していけるよう、今後も活動を継続したいと思っています。



事務局の
大森さん(左)と西城さん

●新しい活動はどんな内容？

出前講座「いのちのお話」の開催



保育園から高校生、看護学生までを対象に、子どもたちの自己肯定感を高め自分や他者を大切に作る心を育てることを目的に開催します。

「ママのくつろぎタイム」の開催

そのためには母親が笑顔でいることも大切。特に孤独になりやすい未就学児を抱える母親を対象に、気軽に交流・相談が出来、安心して過ごせる居場所作りを行います。



●新たな活動に至った経緯は？

「健康」を柱に活動するなかで、自分に自信のない子どもや若者が多いこと、震災後住民同士の「つながり」が薄くなってしまったことが気になり、「いのち」「自分を大切にする」というキーワードが出てきました。復興が一段落した現在、少子高齢化が加速する気仙沼の今後を考え、子どもたちが笑顔で明るい未来を過ごせるよう、高齢者が自分らしくつながりを持つて年を重ねられるような活動が必要と考えました。

WE21 ジャパン厚木では
継続してこの活動を応援します。
ご協力よろしくお願いいたします。

2019年度 貧困なくそう キャンペーン 報告

●国連が定めた「世界貧困撲滅ディ（10/17）」に合わせ、毎年開催している「貧困なくそうキャンペーン」。

今年度は昨年度からの新たな支援先「（公）シャンティ国際ボランティア会」の「ミャンマー難民キャンプでの図書館事業」をテーマに、支援先への理解を深めるための報告会開催と「絵本を届ける運動」に取り組みました。

■ミャンマー難民キャンプでの図書館事業報告会に参加して

- タイ国境沿いに設置された難民キャンプには、約40年経った今も未だ9万人以上のミャンマー難民が留まっています。全土停戦協定が結ばれた近年以降、難民の帰還が始まりましたが、帰還後も住む場所や仕事を得ることが容易ではなく、キャンプに生きる人々は情報の取得や自立して生活する手段がほとんどありません。
- そうした環境のなか、不安や恐怖を抱えて生きる多くの子どもたちや大人たちにシャンティ国際ボランティア会の図書館は学びの場と心の安寧をもたらしています。子どもたちは本との出会いにより夢を見つけ前を見る気持ちを持てます。一冊の本は人生の支えとなり希望を繋ぐ礎となっていると思えました。
- 解決すべき最終課題はキャンプに住む人々が祖国に帰還し、定住して自立できる生活環境を整えることにあります。キャンプで生まれた子どもは既に40歳近くとなり、その子どもたちも大人になりつつあります。自らの祖国、アイデンティティーが失われる前の帰還実現を望むばかりです。（2019/9/13開催 WE21 ジャパン厚木運営委員：田口）



■絵本を届ける運動に参加して

- この運動は、本を知らないアジアの子どもたちのために「シャンティ国際ボランティア会」が1999年より行っている活動で、2018年末までに31万冊の絵本がアジアの国々に届けられています。



- 今回は絵本の日本語部分にビルマ語に訳したシールを貼って送り返すという簡単な作業でしたが、参加された皆さんは一生懸命。



- 5冊の絵本が現地に届き、ミャンマーの子どもたちの希望や大人たちの支えに繋がるよう願っています。

（2019/10/18・22開催）

WE21 ジャパン厚木運営委員：山崎

フェアトレードのチョコレート



今年のチョコのパッケージは平塚市内にある福祉施設「スタジオクーカ」に通う人々のオリジナルデザインです。

世界で一つしかないデザインがプラスされた伝統技法のチョコを味わってませんか？

季節限定品のため2月末まで「WEショップ厚木」にて販売しております。

WEショップ 厚木1号店 ☎ 046 (296) 2555

厚木市中町 3-18-5 Email:we21atsugi@mou.ne.jp

■ 営業日：月～土（4月～9月：10:00～17:00）
（10月～3月：10:00～16:30）

■ 定休日：日曜日・祝日

